

議
町

長 日程第3「町長の所信表明」に入ります。

長 皆様、おはようございます。本日より9日間ということで、何とぞよろしく
お願い申し上げたいと思います。三寒四温という言葉のとおり、寒い日と暖
かい日が繰り返しておるところでございますけれども、日増しに暖かくなって
いる感じがします。早春の息吹を感じるきょうこのごろ、議員各位の皆様方
におかれましては、ますますの御健勝のことと心からお喜びを申し上げたいと思
います。

さて、去る2月の20日に平成29年第1回松田町議会定例会の招集告示をいた
しましたところ、議員各位におかれましては、公私にわたり大変御多忙の中、
全員の御出席をいただき、ここに本定例会が開会されますことを、まずもって
御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

まず、3月11日、岩手県陸前高田市の東日本大震災追悼式の御案内がありま
したので、昨年同様でございますけれども、日帰りでの参列を予定しております。
あの震災から早くも6年目を迎えるということであり、現地ではまだまだ震災
の復興もまだまだまらないというところも思われますが、お亡くなりになられ
た方々の御冥福、また行方不明者の方々が一日も早く御家族のもとに帰られる
ようにお祈りしてまいりたいというふうに考えております。

それでは、日付順に行事などの報告をさせていただきます。

年を明けた1月5日に、最初の町の行事といたしまして、賀詞交換会並びに
表彰式を行いました。本年の表彰の栄に浴されたのは、自治功労表彰2名、一
般表彰15名、感謝状12名2団体でございました。これからも町政運営に対しま
して、御尽力を賜りたいというふうに存じておるところでございます。さらに、
ことしは初めての試みとなりまして、式典の終了後、ふるさと大使の北川大介
さんのおもてなしコンサートを行い、例年よりも多いおよそ300人の方々に楽
しいひとときを過ごしていただきました。

また、1月7日には、寄みやま運動場で消防出初式を挙行いたしました。消
防団員は、本業を持ちながら、日夜、火災や災害などから、町民の生命、財産
を守るために、献身的な活動をしていただいていることに深く感謝を申し上げ
たいと思います。当日の統制がとれた分列行進や消防操法は、訓練の賜物であ

り、大変心強く感じられたところでございます。

続く1月8日は、成人式でございまして、大人の仲間入りをされた新成人101名をお迎えをいたしました。式典には国会議員の皆様が来賓として御臨席賜るとともに、ふるさと大使の山崎一様からお祝いのビデオメッセージを頂戴し、花を添えていただきました。

次に、1月14日から2月12日にかけて開催させていただきました第6回寄ロウバイまつりは、開催中の天候にも恵まれ、また各報道機関にもロウバイまつりが大きく取り上げられたこともあり、開催以来初めてとなる2万人を超える2万718人の方々に楽しんでいただきました。実行委員を初め、関係者の方々におきましては、寄地区ににぎわいはもちろんのこと、松田町のPRを担っていただいたことに改めて感謝を申し上げたいというふうに思います。

1月29日に開催されました第71回足柄上地区一周駅伝競走大会では、中高校生、社会人と男女混合での駅伝が開催されまして、足柄上合同庁舎をスタートし、足柄上地区各市町を回るコースで行われました。オープンチームを含めて13チームが出場いたしまして、松田町Aチームが5位、Bチームが10位という結果でございました。応援のほど、まことにありがとうございました。

1月31日には、ふるさと大使であります前横浜高等学校野球部監督の渡辺元智さんから、甲子園での優勝メダルや選手のサイン入りのウイニングボールなどなど数々の偉業を語る貴重な記念品が多数、町へ貸与していただきました。現在、町民文化センター1階に展示しておりますので、ぜひとも皆さん方にも御高覧をいただきたいというふうに思います。

続きまして、2月1日でございます。静岡県河津町に表敬訪問を行い、相馬町長さんに河津桜つながりのある町との連携強化のお話を行ってまいりました。当町の桜まつりも来年で20回目を迎えるということになりますから、河津桜サミットを共同開催しようというふうに考えております。お互いの連携により、地域経済の活性化が進むように取り組んでまいりたいというふうにも考えております。

次に、2月11日から始まった恒例のまつだ桜まつりでございます。スタート当初の暖かさのために、例年より3週間ほど早く開花が始まり、まつりが始ま

るころには見ごろを迎えてしまうなど、急遽早目の準備を余儀なくされたところでございますが、関係者の皆様方の御尽力もいただきながら、2月の末までには約14万人の方々が訪れ、一足早い桜を満喫していただきました。非常に残念なことではございますけれども、桜が散り、来場のお客さんにこれから失礼になるということも考えながらでありますので、さまざまなチャンネルを使って現状の告知を今現在しているというところでもございます。

2月12日に開催されました第71回かながわ駅伝競走大会では、県内30チームが参加し、松田町は町村の部6位入賞、上郡トップというような成績で、昨年より記録も上回る好成績で終えることができました。松田町を背負っていただいた選手、また関係者の皆様方には感謝と敬意を表したいというふうに思っております。

地方創生事業の一つでありますブランディング連携事業でございます。地方創生加速化交付金を利用して1市5町で進めておりますあしがらローカルブランディング推進協議会では、あしがらエリアのブランドイメージを見える化いたしましたプロモーション動画、またポスター、観光情報誌を作成いたしましたので、2月23日に共同記者発表を行ったところでございます。プロモーション動画につきましては、小田急線車両のモニターで3月12日まで放映されます。この協議会では、今後、小田急線の駅前PRイベントやモデルツアーを行い、このあしがらを広く知っていただき、地域経済を観光事業を中心として回していくための事業展開を図ってまいります。

また、関連事業といたしまして、2月14日から17日まで、市町村振興協会の助成金を活用し、5町の広域行政連携事業といたしましてASEAN経済の中心地でありますシンガポールへ日本食材に対するニーズや品ぞろえ、価格、売れ筋等の視察を行い、また足柄上地区5町の特産品の輸出、観光客の誘致の可能性を探るために、JETRO（日本貿易振興機構）並びにJNTO（日本政府観光局）、また旅行会社のJTB、HISのシンガポール事務所などを訪問してまいりました。直接現地を見ることで、日本から見た一方的な事業にならないよう、また5年後、10年後のあしがら地域の経済発展につながる事業として、今後も推進してまいりたいというふうに考えております。

2月25・26日に、御存じの松田氏の子孫を講師としてお招きいたしまして、松田氏の始まりから今に続く歴史を探る「全国松田サミット in 松田町」が町内外の約350名ほどの方々に御参加をいただき開催されました。遠くは北海道、岡山、香川など全国の松田姓を名乗る20人の方々に御参加いただきました。今後は、ネット上の情報でございますけれども、全国には約29万人ほどの松田氏がおられますので、準町民などと登録していただけるように呼びかけ、町内のサービスを受けたりできるよう準備し、また、この全国の方々が松田町にふるさと納税を行っていただけるなど、次につながる展開を図ってまいりたいというふうに考えております。ちなみに単純計算でございますけれども、10万人の方が1人1万円の寄附をいただくと10億円となりますので、そんな夢を持って取り組んでまいりたいというふうに思っております。

今週末の3月5日に行われます「ふくしあったかフェスタ2017」におきまして、昨年12月に包括協定を締結いたしました株式会社DHC様より、健康サプリといたしまして400人分を無料提供をいただくことになりました。当日、スタンプラリーに参加された方々に配布を予定してございます。今後も、町民の方々の健康寿命の延伸につながる事業を含め、さまざまな連携事業を展開してまいりたいというふうに考えております。

最後に、松田ライオンズクラブさんでは、度が合わず不要になった使用可能な中古眼鏡を収集して、ライオンズ眼鏡リサイクル・プログラムを支援されております。当町におきましても、福祉課カウンターにポスターを掲示し、収集の支援を行っております。最近、少しずつでございますけれども、箱に中古眼鏡を入れていただけるようになりました。議員の皆様におかれましても、どうか御協力をお願いしたいというふうに考えております。

それでは、議会に先立ちまして貴重な時間を拝借いたしまして、平成29年度予算（案）を御審議いただくに当たり、所信の一端を述べさせていただくところでございますが、その前に、本定例会に提案させていただいております条例案と補正予算案の概要について御説明を申し上げます。

初めに、提案しております議案でございますが、専決処分の報告、条例の一部を改正する条例が5件、町道認定が1件と萱沼地域集会施設の指定管理者の

選定の議案を提出させていただきました。

まず、承認第1号専決処分の承認を求めることについては、ふるさと納税がふえたことにより、返礼品等の支出が不足となることから2月7日に専決処分をさせていただいた報告でございます。

続いて、条例の改正でございます。議案第1号松田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び松田町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例、続きまして議案第2号松田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、議案第3号松田町寄ふれあい農林体験施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例、議案第4号松田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例、議案第5号松田町児童館等の設置及び管理に関する条例及び松田町地域集会施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例。

議案第6号松田町町道路線の認定につきましては、町道2号線、小田急ガード付近から新松田駅南口からの町道5号線までの約100メートルの沢尻線について町道認定するものでございます。

議案第7号松田町萱沼地域集会施設の指定管理者の指定についてであります。

続きまして、議案第8号平成28年度松田町一般会計補正予算（第9号）についてでございます。国庫支出金、地方創生拠点整備交付金6,000万円と、それに伴います複合拠点整備事業債4,800万円を歳入に、文化センターをリノベーションし、スポーツ環境整備を行います複合拠点整備事業に1億2,000万、また、地域の低炭素化を実現しつつ、災害発生後の停電時に対応できる施設整備といたしまして二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助2,257万円を受けまして、町内の地域集会施設や幼稚園、分団詰所11カ所に太陽光発電を整備する防災拠点・避難所太陽光発電設備整備工事等3,174万円を今回補正で対応させていただくものでございます。なお、今年度も残すところあと1カ月を切っておりますので、事業の執行に当たりましては、繰越明許とさせていただき平成29年度執行となりますことを御了承いただきたいと思っております。また、補正第9号は、年度内のほぼ最後の補正予算でございますので、事業費が確定し、不用となった予算額などを整理させていただいたものであり、歳入歳出それぞれ1億4,512万9,000円を追加し、歳入歳出の総額を45億7,344万6,000円とするものでござ

います。

次に、特別会計の補正予算は、議案第9号国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）と議案第10号介護保険事業特別会計補正予算（第5号）でございます。

以上が、提出議案と平成28年度の補正予算の概要でございます。

続きまして、議案とともにお届けをしました平成29年第1回定例議会所信表明をもとに、29年度当初予算案の概要を御説明申し上げますとともに、当面の町政に対する取り組みなどについて、所信の一端を述べさせていただきわけでございますが、新規事業と重要事項の概要のみとさせていただくことを御了承願いたいというふうに思います。

平成29年度当初予算（案）の提案をするに当たり、その概要を御説明申し上げますとともに、当面の町政に対する取り組みなどについて、所信の一端を述べさせていただきたいというふうに思います。

平成29年度における町の予算規模は、一般会計では45億6,000万円、前年度比3億7,000万円の増、率にして8.8%の大幅な増となっております。過去、庁舎建設事業を行った平成17年度の48億6,000万円に次ぐ過去2番目に大きな予算規模となっております。

増額の主な要因につきましては、町営住宅建設事業1億7,460万円、事業が分かれておりますが地方創生推進事業としまして7,564万円、小田原市斎場事務負担金約3,000万円、保育所整備支援事業5,000万円、扶助費といたしまして障害福祉サービス等給付事業3,000万円の増などとなっております。

また、国民健康保険事業など7特別会計の総額は32億4,912万円で1億57万円の増、率にして3.2%の増、企業会計の上水道事業会計は2億3,905万円で3,735万円の減、率にして13.5%の減となりました。主な減額の要因といたしましては、2年継続で行っている中河原水源電気設備改修工事が2年目となり、工事内容による2,190万円の減を初め、宮下水源送水用電動弁更新工事、宮下水源受水槽水位計更新工事、河南沢配水池漏水補修工事などが完成したことによる資本的収支の減によるものでございます。

これら9会計の29年度予算総額は80億4,817万円で、前年度比4億3,321万円

の増、率にして5.7%の増となっております。

次に、予算編成の基本的な考え方でございます。当町を取り巻く社会・経済環境は、国内では緩やかな景気回復基調が続いているものの、今後はグローバル化の波と、それに逆行する形で保護主義が複雑に絡み合う世界経済の不安定な影響を受け、大変厳しいものになることが予想されます。

このような困難な状況を乗り越えていくための鍵となるのが地方創生でございます。町民の力、地域の力を紡ぎ、協働と創意工夫により行財政運営の質を高め、明確な将来ビジョンを示し、実行していくことが問われ、松田町に住まう全ての人々と危機意識を共有し、オール松田となって取り組むことができるかどうか、今まさに地域一丸となつての突破力が試されているというふうに考えております。

新年度予算編成に当たり、自主財源の根幹となる町税の増額は見込めず、あわせて地方譲与税を初めとする各種交付金も減額が予想され、歳出においても、少子・超高齢化社会へと変貌を遂げる中、扶助費を中心とする社会保障関連経費がさらに増加傾向にございます。また、既に更新時期を迎えております施設の改修・維持管理経費の増大など、財政需要が見込まれております。

そのような状況であっても、重点課題であります地方創生のため各事業を初めとし、木の学校づくりを念頭にした教育施設の整備充実、女性が輝き活躍し、また子育て世代が安心して子供を産み育てられる地域づくり、寄ふれあいドッグランや寄ロウバイ園を中心とした寄地域の振興、PFI手法を取り入れた町営住宅建設による良好な住環境の提供など、未来へ「ツナグ」をキーワードに、魅力あるまちづくりのために必要な予算を確保・配分した結果、平成17年度以来12年ぶり、過去2番目となる総額80億を超える予算規模となっており、地方創生に求められる自立・自走のための活力を創出し、課題解決のためにオール松田で一丸となつて取り組み、突破力を生み出す原動力となる予算としております。

一般会計における、歳入、歳出について特色のあるものを中心に、逐次御説明を申し上げます。

まず、歳入のうち町税は15億3,401万円、前年度比1,958万円の減、率にして

1.3%の減となっております。家屋の新築による固定資産税及び法人町民税法人税割の増収を見込めるものの、所得の減少による個人町民税所得割、土地の下落修正による固定資産税及び税の特例が受けられる環境負荷の小さい軽自動車への買いかえによる軽自動車税の減収を見込み、全体としては減となっております。

続いて地方交付税でございますが、8億6,000万円で4,000万円の増となっております。

臨時財政対策債の償還費用の需要額算入が3,600万円、歳出で説明いたします、統合に伴う寄中学校生徒への通学定期補助の需要額算入が500万円、また、地方創生推進交付金の地方負担分への特別交付税の増1,000万円を見込んでおります。

国庫支出金は4億7,524万円で、前年度比1億2,011万円、33.8%の増となっております。地方創生推進交付金2,800万円、社会資本整備総合交付金3,600万円、臨時福祉給付金事業費3,000万円、障害者自立支援給付費等負担金1,600万円などが主な増額要因で、このほか子供のための教育・保育給付費国庫負担金、児童手当国庫負担金などが計上されております。

続いて県支出金でございますが、3億6,217万円で6,339万円の増、率にして21.2%の増となっております。これは、市町村自治基盤強化総合補助金2,000万円、安心こども交付金事業費補助金3,500万円が主な増額の要因で、このほか水源環境保全・再生施策市町村交付金、地籍調査費補助金などを計上しております。

続きまして、寄附金1億円、前年度比4,950万円の増であります。ふるさと納税につきまして、従来の受付方法に加え、新たなサイトを開設し、寄附額の積極的な受け入れを図ってまいりたいというふうに考えております。

次に繰入金でございますが、4,120万円で前年度比2,000万円の増となっております。財源需要に要するために財政調整基金より3,000万円、木の学校づくり関連経費として、耐力度調査のために教育施設整備基金から1,000万円の繰り入れを予定しております。また、120万円につきましては、福田奨学基金からの繰り入れでございます。なお、財政調整基金の残高でございますが、29年

度末残高は2億3,450万円となる見込みでございます。

最後に、町債でございます。5億300万円で1億7,800万円の増、率にして54.8%の増となっております。予定している起債につきましては、町営住宅建設事業1億7,450万円を初め、橋梁長寿命化事業、道路新設改良整備事業、新松田駅南口駅前広場整備事業、保育所整備支援事業、小田原市斎場整備事業並びに臨時財政対策債の発行を予定しているところでございます。なお、臨時財政対策債につきましては、1億9,500万円で2,000万円の減となり、昨年に引き続き減少しております。起債につきましては、国庫補助対象事業を中心に起こすもので、後年度に償還金に関しましては交付税算入されることとなっております。

次に、歳出につきまして、主な施策について予算の科目順に御説明を申し上げます。

議会費は予算額が8,745万円で、前年度比47万円の増となっており、0.5%の増となっております。

続いて総務費でございますが、7億7,484万円で、28年度に比べて2,520万円の増、3.4%の増となっております。

まずは、地方創生推進事業といたしまして2事業の計上がございます。

女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業といたしまして2,600万円、女性活躍に向けたまちづくりに関する総合的な戦略と駅周辺地域の公共施設等の有効活用を検討する計画を策定し、町内を初め、女性の起業化を推進するための人材育成や組織形成を実施するものでございます。

県西地域活性化プロジェクト推進事業で3,138万円、松田町を含む県西地域2市8町と神奈川県で連携して、未病改善をキーワードに地域活性化を推進する事業でございます。当町では、交通の要衝である駅周辺地域の広域的な将来構想及び拠点整備に係る計画を策定し、東京オリンピック2020を見据えたインバウンド対策として、国際交流拠点構築に係る環境づくりに取り組むものでございます。

続きまして、重点課題であります定住化促進事業に引き続き取り組みます。定住少子化対策支援事業1,028万円の中に含まれますが、空き家の有効利用と

民間賃貸住宅などの空き室率の解消への子育て世代等の支援といたしまして、民間賃貸住宅家賃補助に96万円、定住希望者への積極的な情報提供、若者の出会いの機会づくり、実際に町に住まいを定めた方や雇用を創出した企業に対する補助、町の魅力の再発見を促す同窓会開催への支援、民間賃貸住宅への空き室問題への対応は引き続き取り組むものとしたしまして、また、公共交通の補完を目的に、路線バスの維持確保を合わせた地域公共交通対策といたしまして乗合バス運行補助事業、通学定期券助成事業、高齢者バス定期券助成事業につきましても継続して行うものとし、814万円を計上しております。

そのほか新規事業といたしまして、地域の課題解決に向けた活動をしている団体に対し、事業費の一部を助成する地域力向上事業助成金50万円、現在策定中であります自治基本条例策定事業に204万円、ふるさと納税に関する経費といたしまして5,000万円、システム利用及び返礼品の発送に関する経費を計上しておりますが、従来の受付方法に加え、新たなサイトを開設し、寄附額の増額を目指すものでございます。

民生費でございます。予算額13億443万円、前年度対比1億3,604万円の増、率にして11.6%の増となっております。増額の要因につきましては、保育所整備支援事業5,000万円、扶助費といたしまして障害福祉サービス等給付事業3,000万円の増などが主なものでございます。

高齢者や障害者のための基本的な施策は継続するほか、中学校修了までを無料化としている小児医療費助成についても、平成29年度は3,938万円の予算を計上し、事業を継続してまいります。

これも定住化対策の一環といたしまして、ひとり親家庭等医療費助成事業に815万円、子育て支援センター・ファミリーサポート事業には1,350万円、学童保育運営事業につきましては、受け入れ児童の増加に伴い学童保育運営事業には1,623万円を計上するなどして事業の実施を図ってまいります。

なお、児童手当事業には1億3,551万円、国民健康保険事業特別会計に対しては、法定外のその他繰出金2,000万円を含めた繰出金として1億960万円を、介護保険事業特別会計には繰出金1億7,076万円、さらに後期高齢者医療制度経費1億4,462万円と、各特別会計への繰出金などを予算計上しているところ

でございます。

続いて衛生費であります。予算額は3億1,606万円で、前年度比4,188万円の増、率にして15.3%の増となっております。

増額の主な要因といたしましては、31年度供用開始を予定しております小田原市斎場の整備費負担金の3,000万円の増となっております。

新規事業としましては、鳥獣被害対策の担い手となる人材が高齢化などにより不足している現状を解決するために、捕獲講習会やイベントを開催し、若手や女性などハンターを目指す新たな層の掘り起こしと人材育成など地方創生推進事業でありますハンター育成事業が300万円計上されております。

この衛生費でも、定住化促進事業といたしまして、健康診査や健康づくり事業など引き続き取り組んでまいります。

続きまして、農林水産業費であります。予算は1億1,010万円で、前年度比767万円、7.5%の増となりました。

28年度に引き続き、地方創生推進事業、Yadoriki Healing Village運営事業に1,526万円、寄ふれあいドッグランを中心とした地方創生事業「Yadoriki Healing Village 愛犬との共生が癒しと賑わいを創出する里づくりプロジェクト」をより軌道に乗せ、経済のエンジンを回していくための組織運営や人材育成などの経費を計上しております。

また、新規事業といたしましては、豊かな環境、生態系を保全し、動植物の命を守り、未病の改善などにより人の命も守る里地里山の活動といたしまして、里地里山活動協定地の対象団体に対する支援といたしまして、里地里山保全・再生事業69万円を計上いたしました。そのほか、かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画に基づき、地域水源林として位置づけた区域の私有林整備事業といたしまして533万円を計上させていただいたところでございます。

次に商工費でございますが、予算額1億2,062万円で、前年度比36万円の減、0.3%の減となっております。今年度も、町内の商工業の発展を目的とし、松田ちよい呑みフェスティバルや空き店舗対策、プレミアム商品券の発行に関する補助経費といたしまして、商工振興対策事業1,198万円を計上し、また、引き続き松田ブランド事業といたしまして103万円を計上しております、特産品

開発事業40万円と合わせて、松田町特産品の中から松田ブランドを選定し広くPRをして行います。ふるさと納税などにも効果がつながるようにするものがございます。

また、平成29年度もまつだ桜まつり、きらきらフェスタ事業など、フェスティバル事業に840万円や、観光宣伝事業に1,507万円と継続実施するものとし、空き店舗対策事業としまして、商店街の空き店舗の解消を図り、商店街の活性化と暮らしやすさの向上を目的に、空き店舗を活用して事業を進めようという方に対して、店舗賃借料の一部を補助するなどの予算60万円を計上しております。

続きまして土木費でございます。予算額は7億8,522万円で、前年度比1億9,069万円の増、率にして32.1%の大幅な増となっております。

定住化促進のために、住環境などの基盤整備は不可欠なものであります。冒頭でも御説明をさせていただきましたが、籠場町有地へのPFI手法を取り入れた町営住宅を建設するための町営住宅建設事業に1億7,460万円、新松田駅南口駅前広場整備事業には用地買収等の費用といたしまして1億4,158万円や、新松田駅周辺整備を町の核となる事業と位置づけ、関係者との協議・検討を一步進めるために、まちづくり構想推進事業といたしまして904万円の計上をしております。平成27年度におきまして、地権者や公共交通事業者などの関係各位との協議会を発足し、平成28年度から3カ年で基本方針・基本構想を検討しているところでございます。

また、道路補修事業費といたしまして、町屋地区への町道17号線や寄虫沢地区の町道寄11号線舗装工事など3,440万円も計上いたしております。また、道路新設改良整備事業といたしまして、今年度から実施しております町道寄15号線や町道1-9号線の改良工事など6,395万円を計上し、整備などを推進してまいります。

また、国土調査法に基づく土地の調査、地籍調査でございますが、沢尻・仲町屋地区を対象に地籍調査費用といたしまして1,324万円、田代橋、大寺橋の耐震補強を含めた橋梁長寿命化補修事業として6,520万円を計上しております。

次に消防費でございます。予算は2億1,739万円で前年度比905万円の増、率

にして4.3%の増となっております。主な増額の要因といたしましては、土砂災害ハザードマップの作成委託料が640万円となっております。また、防災資機材等整備事業といたしまして、防災倉庫備蓄品、災害時非常食購入費など426万円、そのほか消防団運営経費や広域消防の負担金を計上しております。

続きまして、教育費でございます。4億6,886万円で前年度比4,543万円の減、8.8%の減でございます。

減額につきましては、萱沼地域集会施設の建設が終了したことと、また、今後、松田小学校を初めとする老朽化した教育施設整備に対応するために設けてあります教育施設整備基金への積立を、前年度5,000万から3,000万円としたことが主な原因であります。教育施設整備基金につきましては、平成29年度末の見込みで2億7,000万円となる予定としております。

新規事業といたしまして、松田町立学校校舎建設基本計画により建てかえを予定している松田小学校の建設手法等を検討、また国庫補助金の申請をするため、校舎の耐力度診断・調査をするための経費といたしまして、木の学校づくりに関する経費890万円。

拡充事業といたしまして、外国人英語指導助手（ALT）による発達段階に応じた英語指導を行い、児童・生徒の英語教育の充実を図ってまいります。新年度は、指導員を1人増員し、事業を強化するものでございまして、英語教育推進事業に805万円を、松田中学校、寄中学校統合にかかわる経費304万円につきましては、統合準備委員会に係る経費及び寄から松田中学校へ通う生徒並びに部活動に通う生徒とその引率をされる方のバス通学補助金が主なものでございます。

また、小・中学校が土曜日等の休日に地域の方々の協力によりさまざまなプログラムを実施するための経費、土曜日の教育活動支援事業費196万円を計上いたしました。

また、道徳教育推進事業に50万円計上し、これは学習指導要領の一部改正を受けて、平成30年度に小学校、平成31年度に中学校で教科化される道徳について、道徳教育の質の向上、指導内容・方法等の工夫・改善を図るため、県教育委員会の研究指定を受け、松田小学校並びに松田中学校で実施するものでござ

います。

継続事業でございますが、学校ICT推進事業といたしまして3,609万円を計上してございます。小学5年生から中学3年生までの全ての児童・生徒にタブレットが行き渡ることになりますので、今後も事業を効果的にサポートするための支援員の派遣にかかる費用なども含まれております。

そして、この教育費にも幾つか定住化促進事業があります。給食費保護者負担軽減措置事業といたしまして737万円、学校警備員配置事業736万円のほか、小・中学校における障害のある児童・生徒のための介助員や、普通教室でも学習支援を必要とする児童・生徒に対応する学習支援員を配置する事業を継続するとともに、幼稚園2園とも3年保育を実施し、無料送迎バスの運行を継続してまいります。

最後に公債費であります。3億5,005万円と前年度比379万円、率にして1.1%の増となりました。

最後に予備費といたしまして2,500万円を計上しております。

以上が一般会計における平成29年度当初予算（案）のあらましとなります。

続きまして、特別会計、企業会計についての御説明をさせていただきます。

国民健康保険事業特別会計についてでございます。予算額は15億6,564万円で、前年度比較2.2%の増となっております。これは、保険給付費の伸びによる増額によるものでございます。

国民健康保険は、平成24年度に税率改定を行ったところでございますが、被保険者の減少や景気の低迷による所得の減少、さらには軽減税率の拡充など、保険税の収入が伸びない状況に対して、平成27年度後半から医療費が伸び続けているため、平成28年度は県の貸付金を受けなければ運営が成り立たないことから、今後、国保財政の健全運営のため、保険税率の改定をせざるを得ない状況になっております。さらに、平成30年度、県への移管を見据えた運営を行う必要があります。また、国や県の財政的な支援の拡充はあるものの、一般会計に頼らざるを得ない状況も変わらなく、その財政運営は厳しい状況にございます。

次に、国民健康保険診療所事業特別会計でございますが、予算額は7,332万

円となり、前年度比2.1%の増となっております。

国民健康保険診療所は、地域の皆様からの信頼、安心されて診療が受けられる医療機関として重要な役割を担っております。現在、嘱託の医師と県立足柄上病院の医師と連携し、町民の皆様の健康と地域医療の向上に努めてまいりたいというふうに考えております。

次に、上水道事業会計についてでございます。予算額2億3,905万円で、前年度比較13.5%の減額となっております。

水道使用料につきましては、給水人口の減少や節水志向による使用水量の減少により、1.8%の減となっております。収益的収入の76%を占める水道使用料の減少は、健全な経営に影響を及ぼすことから、新たに水道事業運営協議会を立ち上げ、検討に入ります。そのため、報酬等を計上しておるところでございます。

資本的支出につきましては、昭和58年設置の中河原水源電気設備改修工事を昨年から2年間実施しており、今年度は設備を本設置し、運転を切りかえます。そのほか、県道711号線及び県道72号線の改良にあわせた配水管の布設替工事などを予定しており、前年度比で26.6%減の9,845万円となっております。

引き続き、安心・安全でおいしい水の供給と非常時に対応できるよう取り組んでまいります。

次に、寄簡易水道事業特別会計でございます。予算額4,167万円で、前年度比較8.7%の減となっております。

歳入につきましては、水道使用料が伸び悩み、前年度比較7.7%の減となりますが、歳出につきましては、安全でおいしい水を安定供給するため、計画的な施設の更新を行ってまいります。老朽管の布設替えとして弥勒寺地区の配水管布設替工事、弥勒寺配水池非常用通報装置、宇津茂配水池No.2送水ポンプ更新工事、大寺送水ポンプ場No.1送水ポンプ更新工事、同非常用通報装置取替工事を計上しております。

次に、下水道事業特別会計についてでございます。予算額は3億4,441万円となり、前年度比較0.5%の増となっております。

快適な暮らしを営むため、生活環境の向上と河川環境の保全に向け、計画的

に下水道の整備及び維持管理に取り組んでまいります。

歳入のうち、下水道使用料は、昨年12月の議会定例会で下水道使用料の改定をお認めいただいたため、前年度比較15.7%の増、1億2,000万円となっております。また、一般会計からの繰入金1億5,380万円は町債の償還に充てております。

歳出につきましては、国庫補助事業を活用し、下水道管の老朽化対策のための調査費、公共下水道管渠布設工事などを計上いたしました。今後も収支バランスを勘案し、健全な運営に向けて、議員の皆様方の御意見をいただきながら進めてまいりたいと考えております。

続いて、介護保険事業特別会計でございます。予算額は10億4,538万円となり、前年度比較6.3%の増、主に保険給付費の伸びに伴う予算の増額となっております。

介護保険事業につきましては、平成27年度から平成29年度を計画期間とする第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の3年目に当たり、高齢者を主体として、住みなれた地域で生活を支える地域包括ケアシステムの構築を進め、生活支援体制整備もあわせて推進していきます。

平成27年度からスタートした介護予防・日常生活支援総合事業も軌道に乗り、課題となっております在宅医療・介護連携推進事業につきましても、1市5町が連携し足柄上医師会に委託して、足柄上地区在宅医療介護連携支援センターが足柄上病院に4月から開設をされます。引き続き、地域包括支援センターの機能強化を図るため、生活支援サポーターの養成のほか、社会福祉協議会とも連携して生活支援体制整備に取り組んでまいります。

また、平成29年度には、中長期的な視点に立ち、平成30年度からの第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の計画策定を行います。

次に、用地取得特別会計についてでございます。予算額は670万円となり、平成23年度に取得した籠場町有地の起債に対する元利償還金652万円と、平成27年度に取得した町屋町有地の償還金利子12万円を計上しております。

最後に、後期高齢者医療特別会計でございます。予算額は1億7,200万円で、前年度比較4.3%の増となっております。

後期高齢者医療関係では、この特別会計のほかに、一般会計から後期高齢者医療広域連合へ直接支出する広域連合事務費負担金として743万円と法定の市町村定率負担金1億1,026万円を計上しております。

以上が、平成29年度当初予算（案）と当面の町政運営についての私からの所信の一端でございます。

以上、御提案させていただきました案件につきましては、議事の進行に伴い、私を初め副町長、教育長、課長等に御説明を申し上げさせていただきますので、御審議の上、御議決、御認定賜りますよう心からお願い申し上げ、所信を表明させていただきます。よろしくお願いたします。

議 長 町長の所信表明を終わります。